

CT検査同意書 《ご記入の上、検査当日にお持ちください》

☆予約時間の30分前には総合受付を済ませ、画像診断センター50番までお越しください。

《 CT検査問診票 》

- 1) これまでCT検査を受けたことがありますか 無 有(単純・造影)
- 2) 最近バリウムを使用した検査を受けましたか 無 有(日前)
- 3) (女性の方)現在、妊娠の可能性はありますか 無 有 授乳中

《 造影検査を受けられる方のCT造影問診票 》

※造影検査を受けられる方は、必ず下記の問診にお答え下さい。□有の方は主治医と相談して下さい。

- 1) 造影CT検査中、検査後に何らかの症状がありましたか 無 有 初めて
症状 [発疹 嘔吐 吐き気 血圧低下 その他()]
- 2) ビグアナイド系糖尿病治療薬を服用されていますか 無 有
薬 [グリコラン メトグルコ メトホルミン ジベトス ジベトンS その他()]
- 3) ぜん息はありますか(無い方に比べ副作用が出やすいです) 無 有
内容 [現在治療中 治癒 小児喘息]
- 4) アレルギーはありますか(無い方に比べ副作用が出やすいです) 無 有 (^{内容})
- 5) 甲状腺疾患や腎臓病はありますか 無 有 透析中

くまもと森都総合病院 院長殿

《 CT検査同意書 》

主治医よりCT検査のメリット・デメリットについて説明を受け、CT検査説明書の内容を確認し、十分理解したので検査を受けることに

同意します 同意しません

《 造影検査を受けられる方の造影検査同意書 》

造影剤の副作用について説明を受けて十分理解した上で造影剤の使用を承諾し、副作用が生じた場合には医師が必要と判断した処置をうけることに

同意します 同意しません

なお、一度同意されてもいつでも撤回する事が出来ますので、その旨を主治医にお伝え下さい。

西暦 年 月 日

患者様(本人)氏名: _____ 身長: _____ cm/体重: _____ kg

代筆者(続柄)氏名: _____ () 患者が未成年、または署名困難な場合は代筆者が自筆署名して下さい。

CT検査説明書

CTとはコンピューター断層撮影法(Computed Tomography)の略です。CT検査は身体にX線を照射して、身体の断面を撮影する検査です。X線は身体の内部を通過する際、組織や臓器によって通過しやすさが異なります。その差をデータとして集めコンピューターで処理することで身体の内部を画像化します。

CT検査の種類)

単純CT検査: 造影剤を使用しないで検査する方法 (検査時間は5分程度です)

造影CT検査: 造影剤を静脈から注射して検査する方法

(検査時間は20分程度、検査前3時間は絶食です。水分は十分に摂取してください。)

《 注意事項について 》

CT検査全般)

- ・金属は検査の妨げになる場合がありますので、金属が付いた服や下着、貴金属類は外していただく場合があります。
- ・服用中のお薬は医師の指示がない限り、通常通り服用してください。
- ・検査予定の数日前にバリウムを使用した検査を受けた場合、腸内に残ったバリウムがCT画像に影響を及ぼします。
- ・妊娠中または妊娠の可能性のある方は主治医にご相談ください。

造影CT検査)

以下の項目に該当する方は主治医に相談してください。(検査出来ない場合があります)

- ・造影剤の副作用歴のある方
- ・糖尿病薬を服用中の方
- ・気管支喘息、腎臓病、甲状腺疾患の既往歴がある方
- ・アレルギーがある方

《 前処置について 》

通常は前処置の必要ありませんが、ただし骨盤内の検査を目的とする場合は、検査前30分は排尿しないでください

《 ヨード造影剤について 》

妊娠中の方、腎機能が低下($GFR < 30 \text{ ml/min./1.73m}^2$)している方の造影剤を用いた検査は、原則行いません。稀に患者様の体調やアレルギーの有無によって、吐き気やじんましん、かゆみ、のどの違和感などの症状が出てくる場合があります。

副作用の頻度)

- ・軽度の副作用(頭痛、嘔気、紅潮、発疹など); 1%未満
- ・重度の副作用(ショック・アナフィラキシー、痙攣発作、腎不全、意識障害など); 頻度不明

造影剤を使用した直後から症状が出る場合が大半ですが、1時間~1週間ほど経過してから症状が出てくる場合もあります(遅発性副作用)。異常が出たときは、速やかに担当医もしくはくまもと森都総合病院へご連絡ください。また、造影剤を注入する際に造影剤が血管の外に漏れるおそれもあります。注射の際は細心の注意を払っておりますが、そのような症状が出た場合には診察や治療等、迅速かつ最善の処置をさせていただきます。

授乳について)

授乳について、日本の添付文書ではヨード造影剤投与後は一時的に授乳を控えるように勧められています。ただし、米国放射線学会(ACR)、欧州泌尿生殖器放射線学会(ESUR)、日本医学放射線学会(JRS)によると、造影剤は母乳を介して乳児の腸管から吸収される量はごく微量であることから、特段の理由のない限り、造影剤使用後の授乳制限は必要ないとされています。

くまもと森都総合病院 画像診断センター CT室(代表:096-364-6000)

CT説明書(紹介用)2020年4月作成